

令和5年度 木田まちづくりセンターの主な取組

事業名

木田さんぽ♪+泥落とし

P

●事業実施に至った背景、目的

数年続けている「木田さんぽ♪」は、健康づくり・コミュニケーションの場づくり・防災時に備えて避難ルートの確認等を目的として行っており、時には他の活動と結び付けて行い、多くの方が関わり参加しやすい工夫をしている。今回合わせて行った「泥落とし」事業は、地域の子供達が昔行われていた泥落としを知り、郷土料理を地域の大人と作り体験することで、多世代の交流と郷土料理の継承を目的とした。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・散歩ルート確認（まちセン）
- ・講師4名と2回打ち合わせ→前日下準備（講師）

D

●事業の概要

「木田さんぽ♪」 令和5年5月28日（日）9：00～11：30

参加者 地区内（13名）地区外（2名）小学生（2名）

木田センター出発→1行政区→3行政区経由 5kmコース

泥落としで使うマキシバを探し、採りながら歩く

「泥落とし」 令和5年6月4日（日）9：30～12：00

参加者 幼児2名 小学生4名 保護者4名 講師4名

まき作り（散歩で収穫したマキシバを使用）、角寿司作り

C

●事業実施後の振り返り

- 散歩は初めて日曜日に開催したが、初めての参加者がおられて良かった。
- 散歩は目的があって楽しんでもらえた。
- ▲散歩は日曜開催にしても望んでいた世代の参加がなかった。
- 泥落としは三世代の交流となった。
- 講師と小学生の人数が一緒だったから、しっかりフォローしてもらえた。
- ▲泥落としは空き時間があつたから何か併せて行えばよかった。

A

●令和6年度以降の方向性

令和6年度はさらに児童が減り、地元児童を対象とした活動は難しくなる。今後は30～50歳代の大人が参加したくなる魅力ある事業展開を行い、今回関わった住民も一緒に、かつて「泥落とし」を地域のあちこちで行っていた頃のように活発な地域活動に結びつけていきたい。また、郷土料理の伝承も必要と感じる。



木田さんぽ♪



泥落とし

